

# 再発防止対策本部会議（第4回）議事録

## 1 開催日時

令和元年8月21日（水）10時00分～10時30分

## 2 場 所

磐田市役所 本庁舎6階 第1・2委員会室

## 3 出席者

本部長（市長）、副本部長（副市長）、部局長12名 計14名  
事務局：職員課、広報広聴シティプロモーション課、秘書政策課

## 4 会議内容

1 開 会 ※進行は副本部長

2 本部長（市長）あいさつ

- ・本年2月1日に事件が発覚してからあっという間に半年が経過し、職員実態調査と事業者アンケートの結果がやっとまとまった。二度と同様の不祥事を起こさないためにも、この結果を皆で確認し合い、事件の因果関係や日々の仕事のあり方を含めて検証し、様々な課題を解消していかなければいけない。

3 報告事項

- (1) 市議会より「公契約関係競売入札妨害事件に対する申入書」の提出について  
※別紙により、令和元年8月19日、磐田市議会より市長へ上記の申入書が提出されたこと及び内容について報告した。

#### 4 協議事項

##### (1) 職員実態調査（アンケート）結果報告書について 資料1

事務局 職員の属性による実態と傾向を正確に把握するため、各質問の回答結果に対し、4つの属性でクロス集計を行った。割合は縦割合。

記述回答と自由意見は、類似した内容ごとに分類し、主な意見を掲載した。

具体的な記述により職員名などが特定されるおそれがあるものは掲載を控えている。なお、客観的かつ具体的な事実が確認された場合は、市の規定等に基づき適正に対処する旨を記載した。

副本部長 : 各部局において、すでに再発防止対策にできることから取り組んでくれている。その上で、今回の調査結果報告書をさらに“考えるきっかけ”として、様々に活用してほしい。再発防止対策の取り組みは、まだまだ終わらない。

アンケート結果のコメント等の中に、心が動いたり、考えさせられたりする項目があった。

設問の中で、「相談しない、できない」との回答が相当数あった。互いが相談できる職場環境にしてほしい。「自分だけで何とかしよう」と思って仕事をするのは、スマートではない。

委員 : 調査結果報告書等の職員への公表についても、適切なタイミングで行っていくべき。

事務局 : 再発防止対策検証委員会（第三者委員会）や市議会調査特別委員会への資料提供と合わせて、職員に対しても適切なタイミングで公表していく。

委員 : 職員の間で不満や疑念の声が出ないように、部内において丁寧に説明することも我々の仕事・責任である。

##### (2) 事業所アンケート調査結果報告書について 資料2

事務局 : 具体的な記述により個人等が特定される恐れのあるもの、及び本市の入札制度等に関する明らかに事実と異なった間違った意見については削除した。そのうえで、本調査結果報告書について、ご意見・ご質問がある場合には秘書政策課にお問い合わせいただくことにした。

委員 : 問10「貴社が本市の職員に対し、利益供与と思われる行為を行ったことがあるか」の質問に「ある」と答えた事業所はないが、問11「他の事業所等が本市の職員の職員に対し、利益供与と思われる行為を行ったことを見たり、聞いたりしたことがあるか」の質問に「ある」と答えた事業所が5社あり、矛盾が生じている。

- 事務局 : 事業所アンケートの回収率は 122 社中 94 社、77.0%であり、未回答の事業所もあることから、質問間の回答において矛盾や不整合が生じているものと思われる。
- 委員 : 職員実態調査とあわせて、この結果報告書はどのタイミングで公表するのか。
- 事務局 : 承認後、8月28日開催の市議会調査特別委員会と再発防止対策検証委員会に資料提供し、その後、再発防止対策本部会議の報告として、両報告書をホームページに掲載し、公表していく。

以上により、資料1 資料2の内容で調査結果報告書とすることが決定した。

5 その他 事務連絡

6 閉会